

カレッジ里山 花実の森 活動報告(2016年7月-2) 第71号

活動日 2016年 7月 17日(日)	時間 9:30~12:00	天候 (曇り)	記録者 (菅田)
-------------------------------	-------------------------	------------	-------------

公募参加者 12家族 35名 スタッフ 13名	(スタッフ) 磯野彰夫 菅田忠志 松本治美 小林澄夫 清水英暢 俵貴志子 橋野美子 山田喜義 田路義弘 片岡隆夫 板野武市
	(本部) 四方理事 市原理事 (財)こうべ市民福祉振興協会 企画広報係

今回実施した 内容	親子カブトムシ生育観察会(2016年第2回 成虫観察)
	親子自然体験型環境学習として企画し、(公財)こうべ市民福祉振興協会の協力を得て公募した2016年度『親子カブトムシ生育観察会』、年間を通して里山に棲むカブトムシの生育観察をしながら、里山を知り体験するイベント。今回は2回シリーズの2回目。成虫観察と、持ち帰りペアの飼育ケースに入れる「カブトムシの遊び棒・登り棒」づくりを体験してもらった。心配していた成虫も、オス・メスのペアで持ち帰ってもらえることが出来た。しっかり育て観察してもらおう。

写真記録



5月の幼虫観察会と同じ子どもたちが集まってくれた。今日の説明とカブトムシの話のおさらいをしておくよ。



5月に幼虫観察を行なった生育場所で今日は成虫さがし。金網を撤去し交代しながら掘り起こしていく。



我々が3日前に試掘した時には、【少ないなあ、あれだけたくさんいた幼虫はどこへ行ったのか】と心配していたが、子どもたちの探す目はするどい。『いたっ!』『ここにもいたっ!』。 つぎつぎ掘り出してくる。



見つけ出したカブトムシは一旦ケースにまとめることに。
我々が予測していた約倍の成虫(オス・メス合わせて約 40 匹)を掘り出して
くれた。



たくさんいたねえ。オス・メスパアで渡すからね。
今回は“こども夢基金”の助成金で買った中型の飼育ケー
スに、育成マットと餌を入れてプレゼント。



飼育ケースの中に入れる遊び棒・登り棒を自分た
ちでノコを使っての切断加工。これも自然環境体験
のひとつ。2 年生以下の子どもたちには親子の共
同作業で作ってもらった。



最後に、里山に棲むカブトムシたちにとって、里山やいろいろな自然が
大切な事、カブトムシ以外の生きものも大切な仲間である事、そのこと
が地球を大切にすることをおさらいして終わりとなった。

しっかり育てて卵を産ませ、家で
幼虫から育てるんだよ～

